レッスンガイド

基本図形を描く

図形ツールといくつかのキーボード修飾キーを使って、編集可能なタグを作成します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

空の図面から始める

スターターやネイティブ形式の解答プロジェクトは必要ありません。これらの描画ツールを練習している間は、レーザーを未接続のままにしてください。



レイアウト例の一つです。これはイラストであり、アプリのスクリーンショットでも寸法の目標でもありません。

1. 左側のツールバーにある図形ボタンの小さな矢印をクリックして図形一覧を開きます。**長方形**を選び、キャンバス上でドラッグします。

2. ドラッグ中に**Shift**を押すと正方形になります。Macでは**Cmd**、Windows/Linuxでは**Ctrl**を押すと、中心から描画できます。

3. **楕円**を選びます。ドラッグすると楕円を描けます。または**Shift**を押すと円を描けます。

4. **三角形**または**星形**を試します。多角形の場合は、プロパティで**辺の数**を編集します。星形の場合は、点の数を変更します。

5. **Escape**を押して**選択**に戻ります。図形をクリックして選択し、ドラッグして移動します。

自主練習

自主練習

ネームタグ用の長方形を描き、吊り下げ穴として片端の近くに小さな円を描きます。寸法は自由に決めてください。この練習の目的はツールを使うことであり、正確なサイズを入力することではありません。

□ 外形には**長方形**を使い、丸い穴には**Shift**を押しながら**楕円**を使います。

□ **Escape**で**選択**に戻ります。円がタグの外形の内側に完全に収まり、端から離れる位置まで移動します。

□ 各図形を個別に選択します。編集可能な図形を2つ作成できたことを確認します。

円を丸くするのに役立った修飾キーはどれですか？

図形を中心から外側に向かって描く修飾キーはどれですか？

作成したものを保存する

後のレッスンで再利用したい場合は、**名前を付けて保存**を使って自分のプロジェクトを保存します。コピーするために用意されたネイティブ形式の解答はありません。

作業を確認する

作業を確認する

分離した2つの図形
長方形がタグの外形です。円は想定する穴を示します。一方を選択しても、もう一方が選択されないことを確認できるはずです。

丸い円
幅と高さが等しく見えます。楕円を描いた場合は、**元に戻す**を実行し、**Shift**を押しながらもう一度描きます。

適切な位置
円が長方形の内側に収まっています。このレッスンでは、穴の位置やサイズを一つに正確に合わせる必要はありません。

別の図形を試す

同じ図形一覧を開き、三角形、五角形、八角形を試します。辺の数が異なる多角形にするには、選択してプロパティの**辺の数**を編集します。先端のある図形には**星形**を使い、その後で点の数を変更します。

> **描画とレイヤー操作**
> これらは閉じたベクターです。レイヤー操作によって、Beam Benchが外形を**線**で追従するか、彫刻用に領域を塗りつぶすかが決まります。このレッスンではジオメトリを作成しますが、マテリアル設定は選択しません。

描画中にShiftを押すと、縦横比が固定されます。MacではCmd、Windows/LinuxではCtrlを押すと、中心から描画できます。Escapeで**選択**に戻ります。

実演で使用したBeam Bench 0.2.37のインターフェースに対応しています。後のバージョンではパネルのレイアウトが異なる場合があります。